

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若年人材確保事業
事業主体 (連絡先)	岡谷市 (岡谷市産業振興部工業振興課)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (その他)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,050,471 円 (うち支援金 : 762,000 円)

### 事業内容

将来の市内産業を担う若年人材確保のため、小・中・高校生を対象としたキャリア教育等による職業観の育成と地元就職への動機付けや、県内外に進学した学生等を対象に、各種就職活動支援事業を実施した。

- おこや就活サークル (新卒者就職活動支援事業)  
12月～3月にかけて全3回開催  
参加学生延べ61名、協力企業17事業所  
※東京往復の帰省バスを運行
- 中学校キャリア教育  
市内4中学校 (2年生対象)  
参加者計436名、協力企業8事業所
- 高校生キャリア教育  
岡谷工業高校及び岡谷南高校  
参加者計394名、協力企業15事業所



【おこや就活サークルの様子】

### 【目標・ねらい】

将来の市内産業の担い手確保を図るため、若年人材の職業観の育成とUターン就職の促進。

### 事業効果

- コロナ禍での就職活動 (及び採用活動) が一変し、対面による活動が制限される中で、万全な感染防止対策を講じながら、学生の就職活動が効果的に取り組めるよう、企業研究から採用活動解禁時期にかけて継続的、段階的に支援事業を提供することができ、学生アンケートからも「実践形式が有効的であった」、「緊張感を持って取り組めた」など評価いただいた。また、本事業で延べ61名の参加をいただき、事業開始から3年目で過去最高の参加者となった。
- 小・中・高校生を対象としたキャリア教育において、多くの企業に協力いただき、地元産業情報の発信及び職業観の育成が図られた。

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

就職活動支援事業では多くの学生に参加いただき、地元就職に繋がる事業を展開することができた。

### 今後の取り組み

- 就職活動支援対象者は毎年の新規学卒者であり、1人でも多く若年人材を確保していくためには、当該事業を継続的に実施していくことが重要である。また、学生や企業の動向や経済事情を踏まえながら、時宜にかなった事業内容を提供していく。
- 支援対象者にしっかり情報が届くよう、様々な関係機関と連携、協力しながら事業や地元企業の情報を効果的に発信していく。
- 多くの産業が集積する地元には、優れた技術や技能をはじめ魅力ある企業が活躍していくことを多くの子供達に知っていただくための機会を提供していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある